

Virtually Invisible® 791 speakers

設置ガイド



※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

		変なにおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、アンプの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
		内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。
		落としたり、キャビネットを破損したときは販売店に相談する そのままの状態で使用すると、落下してけがや火災、感電の原因となります。販売店に点検、修理をご依頼ください。 ご相談ください

●設置・保管するとき

		本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない 内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
		スピーカーに対応した専用金具を使用 スピーカー取付けに金具を使用される場合は、スピーカーに対応した専用金具をご使用ください。対応外の金具や他社製の金具を使用すると、スピーカーの落下や破損の恐れがあります。
		配線および取付は、設置ガイドに記載してある通りに行う 配線、取付を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。
		不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。
		適切なボルト、ナット類を使用する 取付ネジは、スピーカーおよびブラケットの重量を確認した上で天井、壁の材質にあったものを選んで取り付けを行ってください。強度が足りませんとスピーカーの落下により、けがや事故の原因となります。
		ネジは確実に締める 締め付けが弱かったり、奥まで締めこんでいない場合は、落下してけがの原因となります。
		スピーカーコードは安全な場所に這わせる スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまりいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
		本体のカバーを外したり、分解や改造をしない 火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。
		梱包袋は安全な場所に保管する 製品を梱包していた袋は、お客様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。

●設置・保管するとき

注意		設置作業は専門業者へ 設置に関しては、専門の業者にご依頼ください。
		高温の場所に置かない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置・保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。
		ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。
		けがに注意 スピーカーを高いところに設置される場合には、足下が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
		スピーカーコードを傷付けない スピーカーコードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。コードが破損して、火災や故障の原因となることがあります。

●使用するとき

注意		スピーカーにより掛かったり、ぶら下がったりしない スピーカーを取り付けた後、スピーカーにより掛かったり、ぶら下がったりして重量を掛けますと転倒や落下などで、けがや事故の原因となります。
		長時間音が歪んだ状態で使用しない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
		定期的な点検をする 金属やネジ、ワイヤーが錆びると、落下などの原因となりますので、定期的に点検をしてください。
		配線時は電源プラグをコンセントから抜く 電源プラグをコンセントに差したまま行くと、感電の原因となることがあります。

注意事項に関する重要な指示

作業を始める前にこの設置ガイドをよく読んでご自身の道具の取り扱い経験や説明書内の注意事項について十分に考えてご自分で取り付け作業を行うか判断してください。

もし、取り付け作業に不安があるようでしたら、製品をお買い上げになった販売店、電気工事業者や音響/映像設備設置業者へ相談することをおすすめします。工事依頼をする前に作業内容を業者に伝えて料金の見積をとることもできます。

警告(米国内向け):

取り付けは、National Electrical Code、ANSI/NFPA70、National Fire Alarm Code ANSI/NFPA 72にしたがって行ってください。配線方法とコンパートメントは、スピーカーの動作を妨げないようにしてください。

注意:

この設置ガイド通りに取付を行わなかった場合、製品の全ての保証が無効になります。

この製品は、壁、石造りの天井、あるいは吊り天井に取り付けるように設計されていません。

この製品は天井裏を換気ダクトとして使用している天井に取り付けしないでください。

取り付け作業を始める前にお住まいの地域の建築に関する法律や条例をご確認ください。

機器外装の安全マークをご確認ください。

スピーカー本体やアクセサリを改造しないでください。許可無しでの変更は、安全性、法令の順守、システムの性能を損います。

必ずこの設置ガイドに記載されている取り付け指示事項に従って、すべての断熱・防音材をスピーカーから離してください。

木造あるいはそれに類する建築物に取り付けてください。

スピーカーを取り付けるための寸法は、直径21.9cm、奥行き10.5cm、最大板厚3cmです。

2x6構造のように、適切に区切られた釘で固定されている木製のフレームか同様の天井構造の場合に本製品の取り付けを行うことをおすすめします。この設置ガイドはこれらのタイプの天井に取り付けるためのガイドです。

安全上の重要な注意事項

1. 機器の使用前に、全ての説明をお読みください。
2. 後からご覧になれるように、設置ガイドを保管してください。
3. 機器および設置ガイド上に記載された警告内容にご留意ください。
4. 設置ガイド通りに作業を行ってください。
5. 製造者の指示に従って設置してください。
6. メーカーが指定した添付品やアクセサリのみをご使用ください。

基本的な取付手順

確実な取り付けのために、次の手順に従って作業を行います。

Step 1:

スピーカーを取り付けるおおよその場所を決めます。

Step 2:

注意事項を確認するとともに、正確な位置に取り付けるためにテンプレートを使用してください。

Step 3:

天井に穴をあけます。

Step 4:

スピーカーにスピーカーケーブルを接続します。

Step 5:

スピーカーを天井へ差し入れ、確実に固定します。

Step 6:

それぞれのスピーカーが正しく機能しているか確かめます。

PREPARATION

5

はじめに	5
開梱時の注意	5
その他に必要な工具	5
スピーカーやグリルを塗装をする予定がある場合	5
スピーカーケーブルの選択	6
スピーカーケーブルの準備	6
設置に関するガイドライン	7
▲矢印ガイドの使用	7
ステレオスピーカーとして設置する場合	7
ホームシアター用スピーカーとして設置する場合	8
その他の特記事項	8

INSTALLATION

9

天井の下準備	9
テンプレートの使い方	9
鋸を入れる穴をあける	9
スピーカー用の穴を開ける	10
スピーカーケーブルの準備	10
スピーカーとの接続	11
取り付けの仕上げ	11
スピーカーの取り付け	11
スピーカーのテスト	13
グリルの取り付け	13

REFERENCE

14

塗装の仕方	14
グリルの塗装	14
フレームの塗装	14
お問い合わせ先	14
保証	14
仕様	14
故障かな?と思ったら	15

はじめに

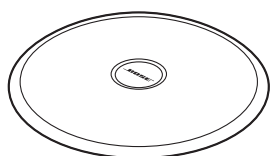
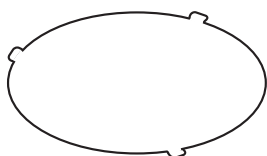
この度はBose® Virtually Invisible® 79i speakers(天井埋め込み型スピーカー)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの設置ガイドをお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。本製品は、ご家庭で最高のステレオ再生やホームシアターの楽しさをご提供します。薄いグリルが目立たず、スピーカーやスピーカースタンドも見当たらないのに、音だけがお部屋を満たします。

実際に天井へ穴をあける前に、この設置ガイドをよく読んでください。設置に先立ち考慮すべき点についてご案内しています。

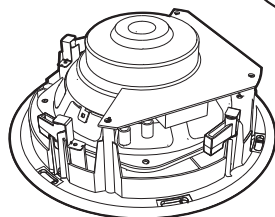
開梱時の注意

注意深くスピーカーを取り出します。下図の内容物がすべてそろっているか確認してください。

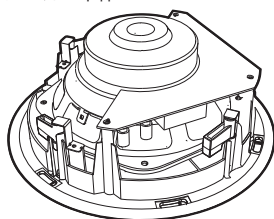
テンプレート / ペイントシールド



グリル



スピーカー本体



その他に必要な工具

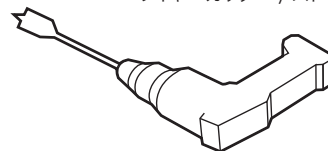
天井にスピーカーを固定するための部品はあらかじめスピーカー本体についていますが、梯子や下図の工具類が取り付け作業をスムーズに行うために必要です。



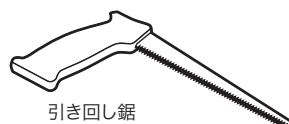
スピーカーケーブル



ワイヤーカッター / ストリッパー



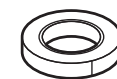
穴あけドリル



引き回し鋸



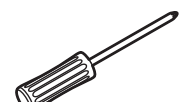
えんぴつ



マスキングテープ



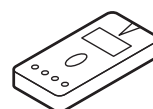
保護めがね



プラスドライバー



メジャー



スタッドセンサー

スピーカーやグリルを塗装をする予定がある場合

スピーカーを取り付ける前に14ページの“塗装の仕方”を必ずお読みください。スピーカーの保護と上手な塗装の方法について説明しています。

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はおやめください。

お願い：スピーカーを取り出すと、製品のシリアル番号が側面に書かれています。保証を受けるために必要となりますので、その番号を控えておいてください。

スピーカーケーブルの選択

スピーカーケーブルは、下の太さと長さの関係の表を参考にして選んでください。

太さ	最大長
18 AWG (0.82mm ²)	20 ft (6m)
16 AWG (1.3mm ²)	30 ft (9m)
14 AWG (2.1mm ²)	50 ft (15m)
12 AWG (3.3mm ²)	90 ft (27m)

スピーカー取り付け位置にケーブルの長さが十分足りているか確認してください。スピーカーケーブルの長さは、スピーカーを天井に埋め込む前に穴の外で結線作業ができるように余裕を持たせます。

スピーカーケーブルの準備

通常スピーカーケーブルは絶縁された2本の導線が1組になっています。片方の導線にはラインが入っていたり、リングがついていたり、凸などのマークがあります。通常そちら側を⊕側に使用します。そして、もう一方を⊖側に使用します。

お知らせ：ケーブルの違いを見分けるのが難しい場合があります。両方のケーブルを注意深くご確認ください。

1. スピーカーケーブルの先端から約13mm被覆をはがします。
2. ケーブルの芯線はしっかりよじっておきます。スピーカー入力端子の⊕側に⊕側のケーブルを、スピーカー入力端子の⊖側には⊖側のケーブルを確実に接続してください。

お願い：スピーカーケーブルの屋内配線に関する情報については、電気資材工事専門業者や音響/映像設備設置業者に相談するか、住宅資材販売店などで参考資料を入手の上ご確認ください。

設置に関するガイドライン

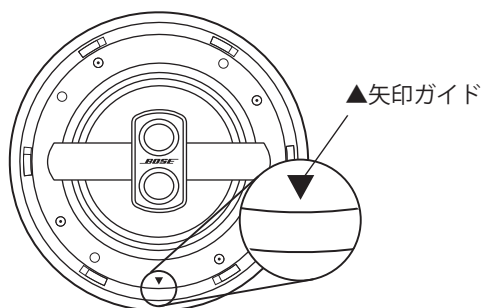
スピーカーの向きと設置位置は、スピーカーの性能を発揮させるために重要です。

以下のガイドラインに従ってそれぞれのスピーカーのおおよその設置位置を選びます。天井に穴をあける位置を決める前に以下のことを確認してください。

- ・ 8ページの“その他の特記事項”
- ・ 9ページの“注意”および“警告”

▲矢印ガイドの使用

小さな▲矢印がスピーカーのフランジ(スピーカー周囲に付けられた縁)の内側にあります。スピーカーの向きを決めるために使用します。

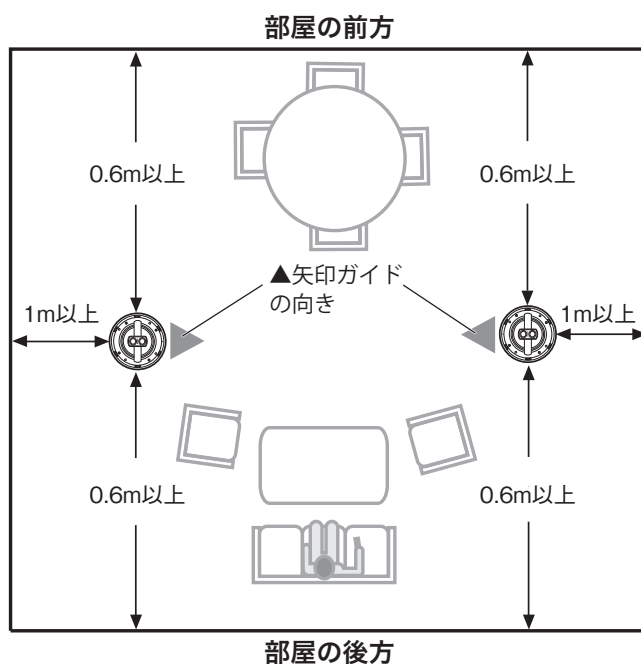


後述の図で2本のスピーカーを使用してステレオ再生用途に使用する場合と、数ペアのスピーカーでホームシアター用途に使用する場合を説明します。

ステレオスピーカーとして設置する場合

2本のスピーカーの位置：

- ・ 部屋の正面に向かって、1本は左に、もう1本は右に設置します。
- ・ ▲矢印がもう一方のスピーカーに向くようにします。
- ・ 主要なリスニングエリアから等距離になるようにします。
- ・ 周囲からの距離：
 - 前方、後方の壁から0.6m以上離します。
 - 側面の壁から1m以上離します。
 - スピーカー同士は2m以上離します。



ホームシアター用スピーカーとして設置する場合

本製品は2本1組で販売していますので、ホームシアター用としてご使用になる場合は数組の製品が必要になります。

●フロントスピーカーの位置：

- ・1本ずつテレビの両サイドの天井に設置します。
- ・▲矢印がもう一方のスピーカーを向くように設置します。
- ・周囲からの距離：
 - 前方の壁から0.6m以上離します。
 - 側面の壁から1m以上離します。
 - スピーカー同士は2m以上離します。

●センタースピーカーの位置：

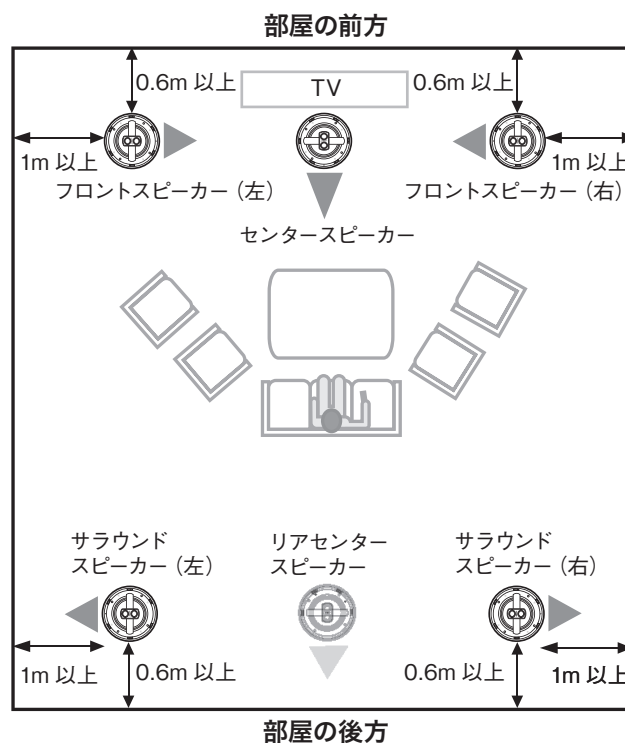
- ・部屋の後方の壁に▲矢印を向けてテレビの上の天井に設置します。
- ・前方の壁から0.6 m以上離します。

●サラウンドスピーカーの位置：

- ・部屋の後方の左右に設置します。
- ・▲矢印が側面の壁を向くように設置します。
(お互いのスピーカーと反対の方向を向くようにします)
- ・周囲からの距離：
 - 後方の壁から0.6m以上離します。
 - 側面の壁から1m以上離します。
 - スピーカー同士は2m以上離します。

●6本目のスピーカー（リアセンタースピーカー）を設置する場合（6.1チャンネルAVアンプ使用時）：

- ・2本のサラウンドスピーカーの間に設置します。
- ・▲矢印を後方の壁に向けて設置します。
- ・後方の壁から0.6m離します。



その他の特記事項

- ・同梱のテンプレートを天井に当て、それぞれのスピーカーの設置位置を決める目安とします。
- ・スタッドセンサー（間柱検知器）を使用すると壁裏の間柱を探すのに役立ちます。間柱とスピーカーの中心までは13cm以上離してください。
- ・梁によって密封された空間に取り付ける場合、最良の音響特性を得るためには、その空間の容積が1立方フィート(0.028m³)以上あることが重要です。
- ・天井裏にある、すべての電気配線、ダクト、および配管を避けてください。スピーカーの設置場所の選定や既設物の避け方につきましては、専門業者にご相談ください。

天井の下準備

安心して作業ができるように、このページのすべての安全および準備についての内容をよく読んで理解してください。

△ 注意：

- 設置作業をご自身で行うことが困難な場合は、専門の業者にご依頼ください。
- ある種の断熱・防音材（例えばクッションなどの詰め物、新聞紙、繊維質またはどんな吹き付け材料でも）は、引火する危険性があります。必ず断熱・防音材をスピーカーから遠ざけてください。

△ 警告：

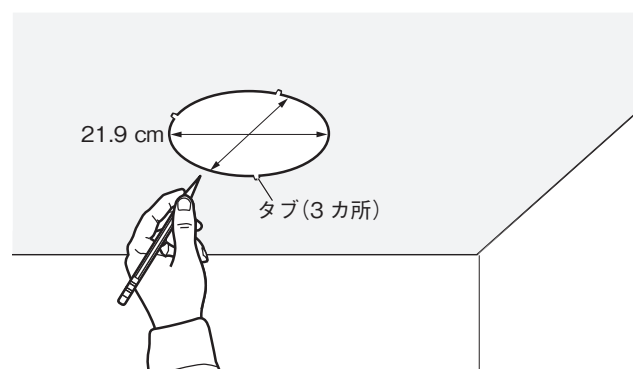
- 穴を開ける場所が安全なことを確認してください。天井裏に危険な箇所（例えば電気配線、コンジットや配管）があるかもしれない部分に穴をあけないでください。その他あらゆる安全予防措置を行ってください。
- スピーカーを取り付けようと思っている天井裏にアスベストが使用されていると思われる場合は、天井に穴をあけたり、切り抜いたりしないでください。別の場所を探してください。
- 天井裏の断熱・防音材が移動可能な場合、以下の注意事項を読んで次の作業に進みます
 - ・スピーカーを取り付ける前に、断熱・防音材を切るか、押しのける必要があります。
 - ・断熱・防音材を取り除くとき、隠れた釘に注意してください。
 - ・ガラス繊維を含む断熱・防音材を取り扱う前には、手袋、口、鼻、目を保護するものを装着してください。
 - ・最大の音響性能を得るために、スピーカー用の穴の縁から10～15cm断熱・防音材を離してください。

テンプレートの使い方

1. スピーカーグリルの中心になる場所にテンプレートの中心を合わせてください。
2. 手でテンプレートを天井に押しつけるか、マスキングテープなどを使って押さえてください。
3. テンプレートの縁をなぞってください。

お知らせ：

テンプレートのタブの形に合わせて天井に穴をあけたり、切り抜いたりしないでください。タブ部分はスピーカーに塗装するときのシールドとして使用する時だけ使用します。

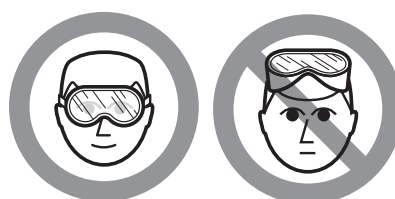


鋸を入れる穴をあける

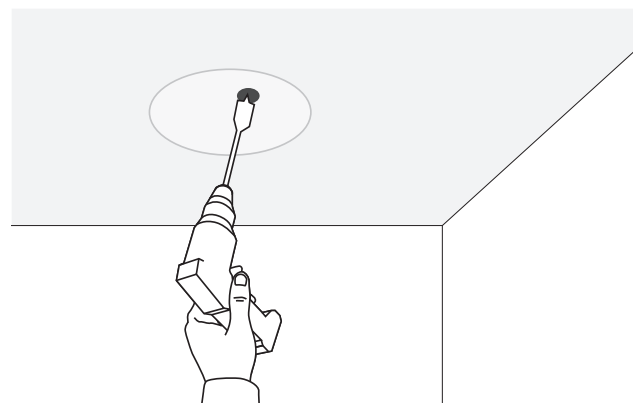
1. 使用する引き回し鋸が入るのに十分な大きさのドリルビットを選びます。

△ 警告：

ドリルや引き回し鋸を使用するときは、保護めがねを着用し、安全に十分配慮してください。



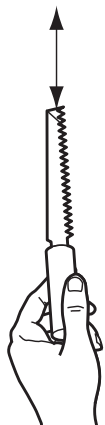
2. なぞった線の内側にドリルで穴を開けます。穴の位置は鋸を使い始めるときにやりやすい所を選びます。



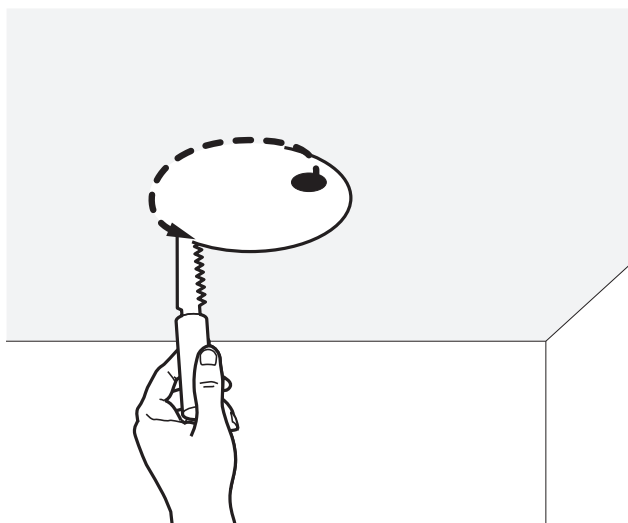
スピーカー用の穴を開ける

できるだけ真円になるように慎重に穴を開けてください。ただし、スピーカーを取り付けると、縁の部分が0.6cmありますので、その部分で少々穴の誤差をカバーすることができます。

1. 鋸の歯を垂直に持ってまっすぐに使用します。このようにすると、鋸の歯がなぞった円の外に出てしまうことを防ぐことができます。



2. 鋸の先端を穴に差し入れて、なぞった円に沿って切っていきます。その際、全部切り取らず、一部分を残しておきます。



3. 最後に切り取る部分の下に片手をもって行き、残りの部分を切り落とします。

⚠ 警告：

鋸の刃でけがをしないように注意してください。

4. 切り取った部分を取り去ります。
5. 切り口の周りの切りくずやごみなどを片付けます。それらが残っていると、スピーカーと天井の間に挟まり、スピーカーと天井面が密着しなくなります。

スピーカーケーブルの準備

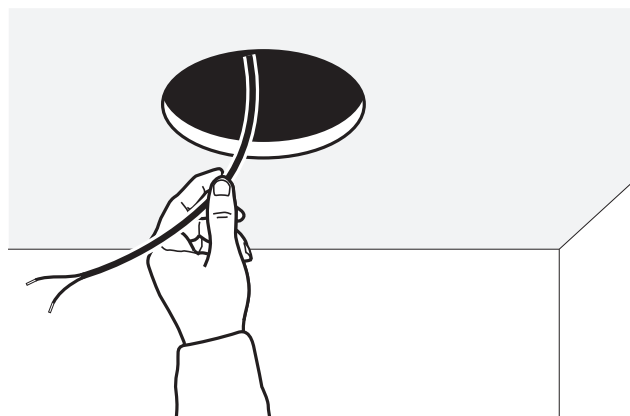
あけた穴の部分までスピーカーケーブルがきているならば、次の作業に進みます。

1. スピーカー取り付け穴周囲の断熱・防音材を押しのかめます。

穴の縁から10～15cm以上断熱・防音材が取り除かれていることを確認してください。

2. スピーカーケーブルを36cm以上引き出してください。

スピーカーとの結線作業に十分なケーブル長を確保してください。



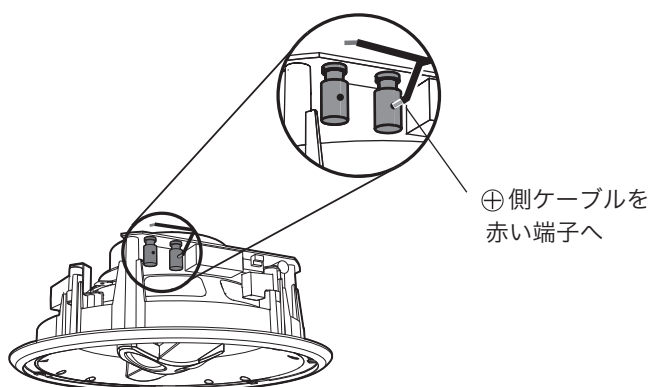
スピーカーとの接続

スピーカーケーブルを接続するときは、下記のように、スピーカーケーブルの極性とスピーカーターミナルの極性を必ず合わせてください。極性を間違えると正しいステレオ再生ができません。

1. スピーカーケーブルのスリーブやそのほかの目印(はじめに⊕側に決めたときの目印)があるケーブルを選びます。
2. スピーカーターミナル上部が赤い方が⊕端子です。
3. スピーカーターミナルを押し込んで⊕側のスピーカーケーブルを差し込みます。差し込む穴にケーブルの芯線以外のものが挟まらないようにしてください。
4. スピーカーターミナルから手を離すと、スピーカーケーブルがしっかりくっつけられます。
5. もう一方のスピーカーケーブルを、スピーカーターミナル上部が黒い⊖端子に接続します。

△ 注意：

スピーカーケーブルから芯線のひげが飛び出ていると他のケーブルや端子とショートして、アンプの故障の原因となりますので、ケーブルの芯線の処理を確実に行ってください。必要に応じてひげを出さないように差し込みなおしてください。



取り付けの仕上げ

作業を完了するためにすべてのオーディオ機器を用意し、すぐ手の届くところに置いてください。

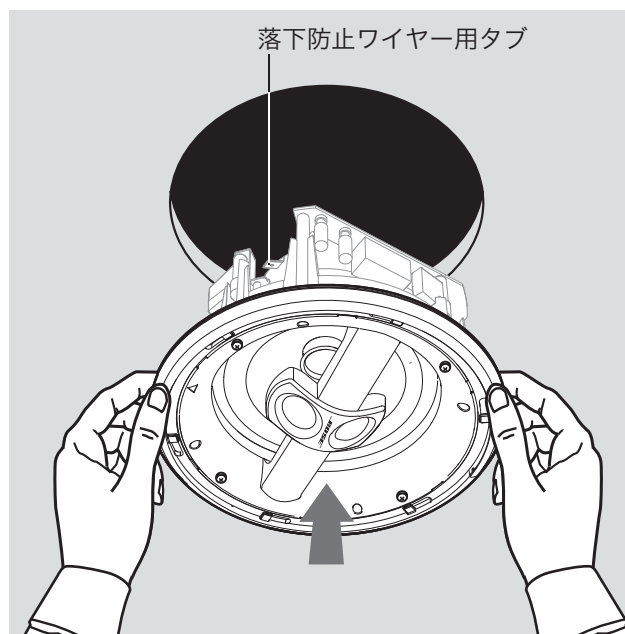
スピーカーの取り付け

スピーカーを持ち上げて取り付ける時に、スピーカーケーブルを挟まないようにしてください。落下防止ワイヤーは、ドライバーユニットのフレーム部にあるタブに取り付けてください。

1. 両手を使いスピーカーの縁を持って天井の穴に合わせます。

お願い：

スピーカーの正面にある小さな2つのドライバーユニットには決して手を触れないでください。



お願い：

決してスピーカーの縁のガスケットに傷をつけたり、はがしたりしないでください。このガスケットはスピーカーの性能に重要な役割を果たしています。

2. スピーカーのフランジ部の内側にある小さな▲矢印を使って、スピーカーを適切な方向に向け設置します。それぞれのスピーカーの向きについては、7ページの“設置に関するガイドライン”をご参照ください。

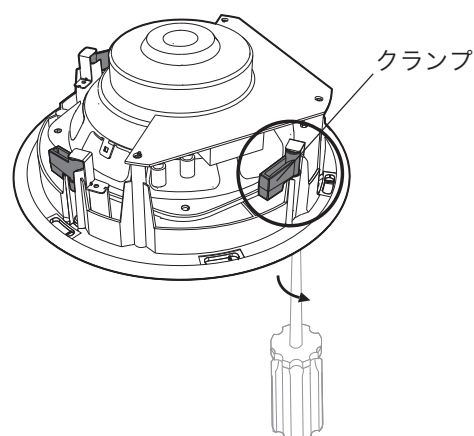
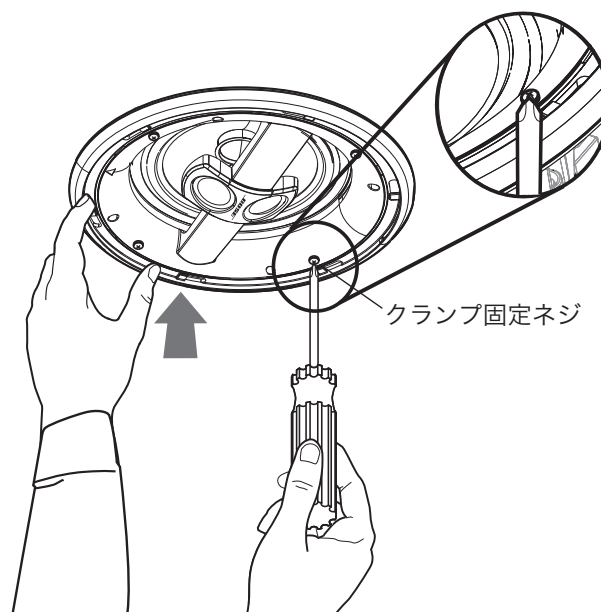
重要な特記事項

クランプ固定ネジを締める場合は、プラスドライバーを使用します。クランプは、天井板を内側から挟み込む事によってスピーカーを固定します。

電動ドライバーや、スクリュービットを取り付けた電動ドリルを使用する場合

- ・最初は最低トルクにセットして始めます。
- ・もし、ネジが固定できなければ、トルク設定をあげてネジを締めます。必要に応じて、プラスドライバーを使って手で締め付けてください。

3. 4本のクランプ固定ネジのうち1本を、スピーカーがしっかりと天井に密着するまで締めてください。このとき天井の裏側でクランプが開き、天井とスピーカーを挟んでいきます。



お願い：

ネジはしっかりと締めてください。ただし、あまり強く締めすぎるとクランプが天井材を破損させる恐れがあります。天井材が破損すると、天井面が平坦でなくなり、スピーカーと密着しなくなります。

4. 今締め付けたクランプ固定ネジの位置の対角にあるクランプ固定ネジを同様に締めてください。2本のネジを締め付けると、一時的にスピーカーを固定できます。
5. 残りの2本のクランプ固定ネジも、同様に締めてください。

スピーカーのテスト

スピーカーグリルを取り付ける前に、スピーカーが正しく機能するか確認します。

△ 注意：

アンプの電源を入れる前に、スピーカーに接続されていないスピーカーケーブルが無いか確認してください。芯線が露出したケーブルは、金属部や他のケーブルに触れてショートする危険があり、アンプの故障の原因となる場合があります。

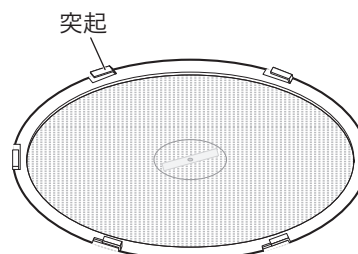
1. アンプの電源を入れて、普段よく聞いている音楽を再生します。
2. 再生音がクリアであり、ノイズが聞こえない事を確認してください。スピーカーケーブルが正しく接続されていない場合、ノイズが聞こえる場合があります。11ページの“注意”を参照してください。

お知らせ：スピーカーを取り外して接続を確認する場合は、はじめに1本のクランプ固定ネジをゆるめ、次にそのネジの対角にあるネジを緩めます(ネジを最後まで緩めると、クランプが自動的にもとの位置に収納されます)。3本目のネジを緩めるときにスピーカーを下から手で支えます。手で支えながらネジを最後まで緩めてください。最後に4本目のネジを最後まで緩めることにより、スピーカーを取り出すことができます。

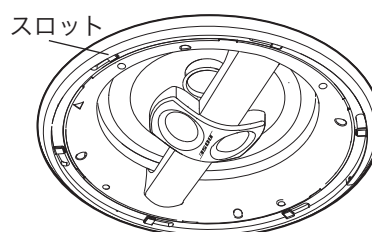
グリルの取り付け

グリルは、スピーカーの縁のスロットにはさみ、時計回りに少し回すだけで確実に固定できます。

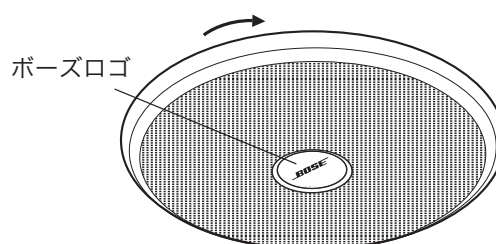
1. スピーカーグリルの縁に沿って6個の突起があります。
2. スピーカーの縁の6個のスロットの位置にグリルの6個の突起を合わせます。



3. スピーカーの縁の6個のスロットとグリルの6個の突起を合わせてはめ込んでください。



4. グリルの突起がしっかり固定するまでグリルを押しながら回します。



お知らせ：グリルを回転させるのが難しい場合は、ゴム手袋を使用するか、滑り止め素材をグリルに当て滑りを抑えてから再度お試しください。

5. 部屋のレイアウトに合わせて、正しい向きにロゴパッチを回転させます。

塗装の仕方

791 speakersのグリルとフレームを塗装する場合は、適切な塗料をご使用ください。塗装の実施は任意であり、塗料の乗り具合や、工場出荷時の塗装状態以外の仕上がりに関しては、保証の対象外とさせていただきます。

以下の方法の中から、作業者が最適と判断するものをお選びください。塗装の実施は任意です。弊社が推奨しない塗料を使用した際の塗装の仕上がりにつきましては保証いたしかねます。ご了承ください。

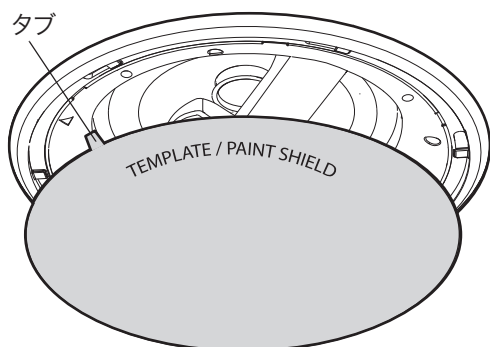
グリルの塗装

ラテックス系、あるいは油性建築業務用塗料をスプレーガンで使用する場合は、薄めて使用します。詳しくはスプレーガンの取扱説明書をご参照ください。

- ・塗装を行う前に、ボーズロゴを正しい方向に向けておきます。
- ・グリルの目に塗料が詰まった場合、先のとがった道具で取り除くのはおやめください。グリルが破損する場合があります。

フレームの塗装

ラテックス系、あるいは油性の塗料をお使いいただけます。作業を始める前に、付属のテンプレート／ペイントシールドをスピーカーの縁の内側に取り付けてください。シールドは、タブ部分によって適正に保持されます。



お問い合わせ先

故障、修理、製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社 カスタマーサービス
お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-021

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

仕様

ド ラ イ バ ー	1インチ(2.54cm)ドームツイーター×2 (array配置) 7インチ(17.8cm)high-excursion ウーファー×1
インピーダンス	6Ω
許 容 入 力	50W rms (IEC268-5)
外 形 寸 法	φ254mm×119(H)mm
天井開口寸法	219mm
最大対応板厚	30mm
質 量	2.2kg
防 磁 対 応	なし

故障かな？と思ったら

症状	対処方法
スピーカーから音が出ない	・アンプの設定を確認してください。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。 ・アンプに2系統のスピーカーが接続されている場合、A、B切り替えスイッチで Virtually Invisible® 791 speakers が接続されている側を選択しているか確認してください。
片側からしか音が出ない	・アンプのバランス調整が中央になっているか確認してください。 ・問題のあるスピーカーからのケーブルをアンプまでたどって、アンプの ⊕ 端子と ⊖ 端子にスピーカーケーブル以外何も接触していないことを確認してください。 ・アンプからスピーカーケーブルを一旦外し、別のアンプの出力に接続してみます。もしそれで、音が問題なく出た場合、アンプの出力または他の機器とアンプの接続に問題があります。すべての機器が確実に接続されていて、正しく動作しているか確認してください。 ・スピーカーコネクタの ⊕ 端子と ⊖ 端子にスピーカーケーブル以外何も接触していないことを確認してください。 ・問題のあるスピーカーからケーブルを取り外し、別のスピーカーに接続してみてください。もしそれで、音が問題なく出たならば、スピーカー本体に不具合があります。お買い上げになった販売店または、ボーズ株式会社サービスセンターまでご連絡ください。問題が解決しない場合、スピーカーケーブルに問題があります。次の指示に従ってください。 ・上記の手順に従って、スピーカーケーブル以外他の原因がない場合、スピーカーケーブルを交換し、通線しなおしてください。
低音または高音が小さい	・アンプのトーンコントロールボリュームを確認してください。 ・スピーカーが天井面に密着しているか確認してください。 ・問題のあるスピーカーからのケーブルをアンプまでたどって、ケーブルの極性を入れ替えてみてください。 入れ替えてみて低音が大きくなったら、ケーブル接続にて、どちらかの端でどこかで極性を間違えていた事が原因です。 ・アンプからスピーカーケーブルを一旦外し、別のアンプの出力に接続してみます。
片側のスピーカーからバチバチという音やノイズが出る	・問題のあるスピーカーからのケーブルをアンプまでたどります。ケーブル自体に問題がなく、ケーブルが確実に接続されていることと、ケーブルが交差して端子に触っていないかを確認してください。 ・アンプとその他の機器の接続を確認してください。 ・問題のあるスピーカーのクランプを緩め、スピーカーを取り外してケーブルの接続を確認してください。スピーカーケーブル自体に問題がないことと、確実に接続されていることを確認し、ケーブルが交差して端子に触れていないか確認してください。 ・問題が解決しない場合は、“片側からしか音が出ない”の項目を参照してください。

ボーズ株式会社 <http://www.bose.co.jp/>
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-17 渋谷ガーデンタワー 5階

BOSE
Better sound through research

-
- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
 - 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承ください。

OM-1433-I
15・02 (B)